

正義論－ロールズ

2019 年本試

問 9 次のロールズの文章を読み，そこから読み取れることとして最も適切なものを，下の①～④のうちから一つ選べ。 9

正義感覚は，実際に正義の原理を適用し，正義の原理に基づいて行為したい，したがって正義の観点に立って行為したい，という欲求にほかならない。……愛し合う者たちは，相手が不幸な目にあったり不当な扱いを受けたりしたら，その身代わりに自分を差し出す。友人や恋人同士は，大きな危険を冒してでも互いに助け合う。また，家族の一人一人も危険をいとわず助け合う。……愛しているとき，私たちは，愛ゆえに傷つき，失う危険を受け入れているのだ。……私たちが愛し続けているならば，自分たちの愛を後悔することはない。愛に関するこれらの事柄が，世の習いどおり，もしくは世によくある話として，真実であるならば……正義感覚についても，なおさら真実として成り立つように思われる。

(『正義論』より)

- ① 人は，愛のためなら大きな危険を冒して互いに助け合い，傷つくことを恐れず，後悔もしない。つまり，人が正義感覚をもち，正義の原理に従って行為することを欲するには，まず，互いに愛し合う必要がある。
- ② 人は，愛のためなら大きな危険を冒して互いに助け合い，傷つくことを恐れず，後悔もしない。つまり，人が正義感覚をもち，正義の原理に従って行為することを欲するのは，友人や家族など，愛する者に対してである。
- ③ 愛し合う者たちが，相手を助けて自分が傷ついても愛を後悔することがないように，正義感覚をもつ人は，正義の原理に基づいて行為することで害を受ける可能性があっても，正義の観点に立って行為しようとする。
- ④ 愛し合う者たちが，相手を助けて自分が傷ついても愛を後悔することがないように，正義感覚をもつ人は，正義の原理に基づいて行為することで害を受けることを欲し，正義のために愛を失うことを求める。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 9	9	③	3

2017 年本試

問 5 富の格差をはじめとする様々な不平等を思想家たちは問題にしてきた。次のア～ウは、そうした思想家たちの説明であるが、それぞれ誰のことか。その組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。 33

ア 敬虔^{けいけん}なキリスト教徒にして人文主義者(ヒューマニスト)である立場から、金銭や富が人間よりも大切にされる社会を批判し、貨幣や私有財産のない理想社会を描く作品を発表した。

イ 男性優位の文化・習慣が女性に特定の生き方を強いていることを明らかにし、「人は女に生まれるのではない、女になるのだ」と主張して、以後のフェミニズム運動に影響を与えた。

ウ 自由競争によって生じる所得や地位の不平等は、社会の最も不遇な人々の境遇の改善につながる限りで認められるとする格差原理を主張して、公正としての正義を構想した。

- | | | |
|------------|-------------|--------|
| ① ア トマス・モア | イ ボーヴォワール | ウ ロールズ |
| ② ア トマス・モア | イ ボーヴォワール | ウ サンデル |
| ③ ア トマス・モア | イ シモーヌ・ヴェイユ | ウ ロールズ |
| ④ ア トマス・モア | イ シモーヌ・ヴェイユ | ウ サンデル |
| ⑤ ア サン=シモン | イ ボーヴォワール | ウ ロールズ |
| ⑥ ア サン=シモン | イ ボーヴォワール | ウ サンデル |
| ⑦ ア サン=シモン | イ シモーヌ・ヴェイユ | ウ ロールズ |
| ⑧ ア サン=シモン | イ シモーヌ・ヴェイユ | ウ サンデル |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 5	33	①	3

2015 年本試

問 5 正義の捉え方を述べた次の文章を読み、文章中の **a** ～ **c** に入れる語句の組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。 **5**

正義は、古代ギリシアにおいて知恵や **a** とならぶ四元徳の一つに数えられ、よき政治秩序に必須とされた。しかし、正義とはその時々^の強者の利益にすぎないという考え方もまた、すでに古代ギリシアに登場している。今日の民主社会においても、民主主義が、多数決による支配を安易に意味するならば、正義とは、多数派の意見の別名となりかねない。19 世紀のミルは、**b** において、またミルに影響を与えたトクヴィルは、『アメリカのデモクラシー』において、画一的な世論が反対意見を封殺する「多数派の専制」について論じている。こうした見方は、大衆社会が全体主義の温床となったと捉える 20 世紀のアーレントにも受け継がれた。他方で、正義を単なる多数派の意見に還元しないためにも、正義を普遍的原理として理論化する試みがなされている。例えば、ロールズは、**c** の考えを新たに活かしつつ、基本的な財の分配をめぐる平等の原理として正義を捉え直し、現代思想に大きな影響を与えた。

- ① a 友愛 b 『正義論』 c 功利主義
- ② a 友愛 b 『正義論』 c 社会契約説
- ③ a 友愛 b 『自由論』 c 功利主義
- ④ a 友愛 b 『自由論』 c 社会契約説
- ⑤ a 節制 b 『正義論』 c 功利主義
- ⑥ a 節制 b 『正義論』 c 社会契約説
- ⑦ a 節制 b 『自由論』 c 功利主義
- ⑧ a 節制 b 『自由論』 c 社会契約説

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 5	5	⑧	3

2014 年本試

問 5 公正としての正義に関するロールズ思想内容の説明として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

5

- ① 部分的正義には、悪を犯した人には罰を与えるように、人々の利害得失を均等にする調整的正義(矯正的正義)があるとした。
- ② 幸福の計算において、各人を等しく一人として数えるという基準から、諸個人の利害を等しく計算することが正義にかなうと説いた。
- ③ 誰^{だれ}もが欲するであろう基本的な財の配分の正義を問題にし、基本的人権に対する平等の権利と、格差の是正のための原理を提示した。
- ④ 生命・自由・財産所有などの各人が生まれながらにしてもつ自然権を守ることを正義とし、その保障を政府の役割であるとした。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 5	5	③	3

2011 年追試

問 2 社会的・経済的格差に関して、ロールズ思想についての説明として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 32

- ① 格差が許されるのは、それが公正な競争によって生じ、かつ、最も恵まれない人々の生活の改善につながる場合に限られると主張した。
- ② 資本主義においては大きな格差が生じることは避けられないと考え、能力に応じて働き、必要に応じて富を受け取る社会を目指すべきだと考えた。
- ③ 格差の是正には、生きる環境や能力が異なる人々に同じ財を配分するのではなく、基本的な潜在能力の平等を保障することが必要だと考えた。
- ④ 人々の間に大きな経済的格差が生じたのは、文明社会で財産の私有が始まり、人間が墮落した結果だと考え、「自然に帰れ」と唱えた。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 5 問	問 2	32	①	3

問 4 現代において正義に関する理論を提唱した人物に、ロールズがいる。彼の正義論についての記述として最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。

34

- ① 各人に対し、自ら価値があると認めるような諸目的を追求する自由、すなわち潜在能力を等しく保障することが重要であると指摘した。
- ② 各人には過剰な利己心を抑制する共感の能力が備わっており、めいめいが自己の利益を追求しても社会全体の福祉は向上すると考えた。
- ③ 自由や富など、各人がそれぞれに望む生を実現するために必要な基本財を分配する正義の原理を、社会契約説の理論に基づき探究した。
- ④ 相互不信に満ちた自然状態から脱することを望む各人が、自らの自然権を互いに放棄し合う、という形で社会や国家の成立を説明した。
- ⑤ 侵すことのできない権利をもつ各人から構成されるものとして、国家は国民のそうした権利を保護する最小限の役割のみを担うとした。
- ⑥ 自然法を人間理性の法則として捉えて国家のあり方を論じるとともに、諸国家もまた同じく普遍的な国際法に従うべきであると説いた。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 5 問	問 4	34	③	3

2001 年本試

問 6 ロールズの思想を説明した記述として最も適当なものを，次の①～⑤のうちから一つ選べ。

18

- ① 生産手段の少数者の私有ではなく，社会的な所有としなければならない。それによって，人々がその働きに応じて富の配分を受ける社会，さらには能力に応じて働き，必要に応じて富を受け取る社会を目指すべきである。
- ② 人間は道徳的な存在者としての尊厳を有する。そうした人間がお互いに相手を単なる手段としてだけ扱うのではなく，目的としても対等に尊重し合う共同体を実現しなければならない。
- ③ 全員に等しい機会が与えられた公正な競争であっても，社会的格差が生じることはある。もしそうした競争が社会の中で最も恵まれない人々の暮らし向きを改善しないならば，社会的格差は是正されなければならない。
- ④ 市民社会においては，自由で平等な個人がそれぞれに欲望を追求することによって，かえって自由と平等が損なわれている。こうした矛盾は国家という最高の共同体においてはじめて克服される。
- ⑤ 人間の不平等は財産の私有によって生じたものである。したがって，人間同士の自由で平等な関係は，人々の私利私欲を排除した一般意志に各人が自発的に従うことによって，はじめて実現される。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 6	18	③	2